

【事業名】域内削減効果を算出する資源循環の情報連携基盤（プロトタイプ版）の設計

事業者名：スマートシティ企画株式会社、K&ESG株式会社

実施期間：令和6年8月～令和7年2月

1. 事業の背景・目的

①地方公共団体における資源循環に関する課題の解決

域内の静脈市場における資源循環をトレースできておらず、実態としての排出量やリサイクルが高度化、拡張することによる削減効果が見える化できない課題を抱えている自治体を対象とした情報連携基盤の開発を目指す。本事業において、設計・開発した資源循環による削減効果の算出モデル及び静脈市場における排出量を連携する情報連携基盤（プロトタイプ版）をもって、域内の削減効果算定の精度と削減計画への反映の是非を検証する。

②欧州連合が交付・発効したエコデザイン規則対応

欧州輸送のために国内のリサイクル事業者や消費者商品の製造事業者が資源循環関連の指標を算出・開示する必要があるが、その支援を実施する体制を構築することを目的とする。特にエコデザイン規則において、サーキュレーションフットプリントフォーミュラ（CFF）に基づく削減効果の算出が必要となる。本事業を通して、CFFに準拠した削減効果を算出するための事業者間の資源循環関連の情報連携基盤を設計し、実際に基盤において実行される算出式・プロトコルが帰属に準拠しているかどうかを実証する。

2. 補助事業の概要

廃棄・リサイクルの一連における各種工程のCO2排出量やリサイクル率などのサーキュレーションエコノミー関連の情報をモデリングし、それらの情報を連携させて、削減効果（クレジット）を算出する実証を展開する

本実証に向けて、①実証参加者を募集し、②モデリングのプロトコル・ロジックを設計し、③情報流通基盤のプロトタイプを設計する

